

第二編 各 論

第七章 化學戰問題

目次

第七章 化學戰問題	五一
第一節 總說	五一
第二節 化學兵器	五一
第三節 「バクテリア」兵器	五三
第四節 燒夷兵器	五三

第七章 化學戰問題

第一節 總 說

一、四月二十二日ノ「サイモン」決議案ニ基キ質的軍縮ノ適用問題トシテ陸海空三軍ニ涉リ性質上最モ特ニ攻撃的ナル兵器、國防ヲ破ルニ最有效ナル兵器及市民ニ對シ最脅威ヲ與フル兵器ノ決定ヲ專門委員會ニ命シタル次第竝ニ化學兵器ノ問題ハ陸海空軍三委員會ノ何レノ權限ニモ屬セサル爲一般委員會ハ五月十日幹部會ノ決定ニ基キ化學兵器問題研究ノ爲濠、伯、英、丁、佛、獨、伊、日、蘭、波、西、瑞西、蘇、米ノ十四國委員ヨリ成ル一特別委員會ヲ設クルコトナレル次第ハ第一編第六節記述ノ通ナリ

二、本特別委員會ハ五月十八日ヨリ同三十一日迄ノ間ニ七回會合シ伊國委員「ピロチ」ヲ議長ニ蘭委員「ルートゲルス」ヲ報告者ニ選ビ（一）化學兵器（二）「バクテリア」兵器（三）燒夷彈及火焰發射器ノ三項目ヲ議シ其ノ各々ニ付起草委員會ヲ設ケテ（我方ハ（二）及（三）ノ起草委員會ニ參加ス）決議案ヲ起草シ最後ニ一般委員會ニ對スル報告書ヲ採擇セリ（Conf. D. 120）

三、化學戰ヲ廢止スヘシトノ點ニ付テハ各國代表部ノ意見略一致シ居ルヲ以テ本委員會ノ事業ハ比較的容易ニシテ多少意見ノ岐レタルハ細目ノ點ニ過キス尤モ今次特別委員會ハ其ノ事業ヲ「サイモン」決議案ノ三性質ヲ有スル兵器ノ選擇ニ限局シ化學戰ノ準備及違反者ニ對スル制裁等禁止ノ態様ニ關スル問題ニハ觸レサリシ次第ニシテ右ニ關シテハ將來相當論議ヲ見ルヘシト豫想セラル（化學戰問題ニ關スル各國提案分類表（Conf. D/A/C.B.1）參照）

第二節 化學兵器

一、化學兵器問題ニ關シテハ英、蘇、伊、獨、日、西ノ七國委員ヨリ提案アリ（我方ハ毒瓦斯列舉ノ困難ナルコト及新瓦斯發見ノ場合ノ問題ヲ指摘シ準備委員會條約案又ハ一九二五年議定書ノ規定ノ如キ一般的且包括的ノ規定ヲ可トスト

主張ス）事務局ヲシテ其ノ對照表ヲ作成セシメ（Conf. D/A.C.B./12）且幹部側ノ作成ニ係ル基礎案（Conf. D.A.C.B./13）ニ依リ討議ヲ進メタル後英、獨、佛、波、蘇五國委員ヨリ成ル起草委員會ノ起草ニ係ル決議案ヲ採擇セリ其ノ趣旨ハ人體及動物ノ機構ヲ害スヘキ一切ノ有毒ナル元素、天然物及合成體ヲ害敵手段トシテ使用スルコトハ「サイモン」決議案ノ三性質ノ何レカニ就中市民脅威性ニ該當スルヲ以テ質的軍縮ノ適用ヲ受クヘキモノナリト云フニ在リ

二、本件討議中問題トナリタル點左ノ如シ

- (一) 化學品ハ其ノ使用方法ニ依リ始メテ兵器トナルノ點ニ於テ他ノ兵器ト異ル（化學品使用器ニ付亦略同様ナリ）ト佛委員ノ意見ハ委員會ノ認ムル所トナレリ
 - (二) 化學兵器カ「サイモン」決議案所載ノ三性質中市民脅威性ヲ具備スルコトニ付テハ意見一致セルモ他ノ二性質ヲ有スルヤ否ヤニ付テハ意見岐レタリ
 - (三) 委員會ハ化學兵器ノ列舉ヲ避ケ一般的且包括的定義ヲ採擇セリ
 - (四) 米國委員ハ催淚瓦斯ハ決シテ有害ニ非ス警察用トシテ頗ル效果ヲ舉ケツツアルモノナル處若シ催淚瓦斯ハ戰時非戰闘員ニ對シ有害ナリトノ宣言ヲ爲サムカ平時國內警察ニ於テモ市民ニ對シ之ヲ使用スルコト困難トナルヘシトテ右除外方主張セルモ瑞、波、獨、蘇、蘭、佛、西各委員及議長ヨリ交々
 - (イ) 戰時使用ヲ禁止スルモ警察使用ヲ妨クルモノニ非ス
 - (ロ) 有毒瓦斯ニ例外ヲ認ムレハ濫用ヲ生ス
 - (ハ) 催淚瓦斯ト他ノ瓦斯トハ混用セラレ易シ
 - (ニ) 戰時ノ非戰闘員ハ無辜ノ民ニシテ罪人ト同一視スヘカラス
- 等ノ理由ヲ以テ米委員ニ反對シ遂ニ報告書中ニ米委員ノ留保ヲ記載スルコトトセリ
- (五) 化學兵器ノ使用ハ害敵ノ目的ニ出ツルトキ禁止セラルルモノニシテ例ヘハ消毒劑トシテノ使用ハ之ヲ禁止セサル

コト勿論ナリ

(六) 禁止セラルヘキ化學兵器ノ外ニ在ルモノトシテ通常ノ爆發ヨリ生スル瓦斯及煙幕ヲ認メタリ

(七) 化學品其ノモノノ外之ヲ害敵手段トシテ使用スル爲特ニ構造セラレタル一切ノ器具ヲモ禁止スヘキコトニ決ス（伊及蘇委員ノ主張ニ依ル）

第三節 「バクテリア」兵器

「バクテリア」戰ハ「サイモン」決議案ノ第三性質即チ市民脅威性ヲ具備スルノミナラス其ノ嫌忌スヘキ性質ニ於テ世界一般ノ良心ニ反スルモノアルヲ以テ當然質的軍縮ノ適用ヲ受クヘキモノナリトハ委員會一致ノ意見ニシテ佛委員提案（Conf. D/A.C.B./10）ヲ基礎トシ起草委員會ニテ起草セル決議案ヲ採擇セリ其ノ趣旨ハ一切ノ病菌病源ヲ害敵手段トシテ使用スルコトハ「サイモン」決議案ノ三性質ヲ別トスルモ尙世界ノ良心ニ反スルモノアルニ付質的軍縮ノ適用ヲ受クヘキモノナリト云フニ在リ

第四節 燒夷兵器

劈頭我方ヨリ燒夷兵器ハ市民ニ對シ最危害ヲ及ホスモノナルヲ以テ「サイモン」決議案ノ性質ヲ有ストノ意見ヲ表明シタルニ對シ英、濠兩委員ハ請訓中ナリトテ意見ヲ留保シタルモ兎ニ角燒夷兵器ノ範圍ヲ明白ナラシムル爲日、米、瑞三國委員ヨリ成ル起草委員會ニ於テ決議案ヲ作成シ右ニ對シ本委員會ニ於テ修正ヲ加ヘタル上之ヲ採擇セリ要旨左ノ如シ

- (一) 燒夷投射物ハ市民ニ對シ重大ナル脅威ヲ與フルヲ以テ質的軍縮ノ適用ヲ受クヘシ
- (二) 火燄發射器ノ使用ハ「サイモン」決議案ノ性質トハ獨立ニ人體ニ無用ノ苦痛ヲ惹起スルモノトシテ同シク質的軍縮ノ適用ヲ受クヘシ
- (三) 但シ(一)ハ(イ)照明兵器(米國委員ノ主張)(ロ)偶然火燄ヲ惹起スヘキ投射物(ハ)特ニ航空機防禦用トシテ構造使用セラル、投射物(英國委員ノ主張)ニハ及ハス

附

錄

目次

第一、重要文書集	五一九
第二、會議日誌	五二三
一、日附順會議日誌	五二三
二、會議別開催日表	五五七
第三、帝國全權團構成及委員會分擔表	